

## やさしさマーク

小 二

わたしがおじいちゃんの家  
にあそびにいったとき、おじい  
ちゃんの車に、「ちようちよ  
のマークがついていることに  
気がつきました。わけを聞くと、  
耳がよく聞こえない人がうん  
てんする車につけるマークだ、  
ということがわかりました。そ  
のことを聞いたわたしは、耳が  
よく聞こえない人が、車をうん  
てんするなんて、むりだよ。あ

ぶない、あぶないよ、と思いま  
した。でも、このちようちよの  
マークには大切なやくめがあ  
りました。それは、町の中でこ  
のマークを見かけた人にちゆ  
ういをしてうんてんしたり、こ  
うどうしたりするようには、知ら  
せることです。  
わたしは、車をうんてんする  
とき、耳がよく聞こえないと、  
どんなことがたいへんなのだ  
ろうとそうぞうしてみました。  
たとえば、ほかの車が近づいて  
くる音やきけんをつたえるク  
ラクシヨンの音、ふみきりの音

もよく聞こえません。それは、とてもこわいことだと思いません。だから、きつとうんてんするスピードがおそくなってしまうと思います。それに、こうさてんでは、ほかの人よりもちゅういしてうんてんするため、車をはっしんさせるのがゆっくりになってしまうと思いません。

だから、このマークを見かけたときには、まわりの人がよゆうをもつてうんてんしたり、ちゅういぶかくうんてんしたりすることが大切なのだそうで

す。そうすることで、耳がよく聞こえない人も安心して車でかいものにでかけたり、うんてんを楽しめたりするのだと思います。

わたしは、お母さんにほかのどんなマークがあるのかをたずねました。すると、うんてんめんきよをとったばかりの人がつける「しよしんしやマーク」や、お年よりの人がつける「こうれいしやマーク」があることがわかりました。こうしたマークは車につけるもので、マークを見ても、わたしには何もす

ることができません。わたしにも、何かできることはないかなと思ひ、お母さんにたずねました。すると、おなかに赤ちゃんのいる人がつける「マタニティマーク」や、電車の中に「ゆうせんせきのマーク」があると教えてくれました。これを見かけたときには、せきをゆずったり、やさしく声をかけたりするといいと知りました。

わたしたちの生活には、このようなマークがあふれています。どのマークも、人と人がたすけ合うための、「やさしさマー

ク」だと思ひました。でも、本当に大切なことは、マークのある、なしではありません。どんなときも、こまっっている人を見かけたら、やさしくたすけるということだと思ひます。わたしも、学校の中でこまっっている友だちや一年生がいたら、やさしく声をかけたり、手つだったりしてきます。友だちもわたしをたすけてくれるのでうれしいです。もっともっとやさしさがひろがるといいなと思ひます。